

衆議院予算委員会（分科会）ニュース

平成 22.2.26 第 174 回国会第 2 号

2 月 26 日（金）第 2 回の分科会が開かれました。

平成 22 年度一般会計予算
平成 22 年度特別会計予算
平成 22 年度政府関係機関予算

【第 1 分科会】

（皇室費、国会、裁判所、会計検査院、内閣、内閣府及び防衛省所管並びに他の分科会の所管以外の事項）

- ・中井国家公安委員会委員長、福島国務大臣（消費者及び食品安全担当）、田島環境副大臣、高井文部科学大臣政務官、山井厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

内閣府所管

佐藤茂樹君（公明）

- ・大阪府において、東京都などに比して、保有台数当たりの自動二輪車の駐車違反確認標章取付け件数が多い原因をどのように考えるか。
- ・自動二輪車の駐車スペース確保のため、都道府県公安委員会が各自治体と連携協力する必要があると考えるが、中井国家公安委員会委員長の見解を伺う。
- ・自動二輪車の駐車場が十分に確保されるまで、自動二輪車の駐車違反取締りについて、重点取締り地域を主要幹線道路に限定するなどの経過措置を設ける必要があると考えるが、中井国家公安委員会委員長の見解を伺う。

内閣所管

仁木博文君（民主）

- ・社会保障制度及び税制に共通する新たな番号制度の導入が必要であると考え、仙谷国務大臣の見解を伺いたい。
- ・新たな番号制度の導入にあたっては、個人情報の漏えい防止のための措置等が重要であると考え、仙谷国務大臣の考え方を伺いたい。

- ・「社会保障・税に関わる番号制度に関する検討会」における検討の進捗状況について伺いたい。
- ・遠隔予防医療相談システム等、医療分野における IT 技術の活用の有益性について、仙谷大臣の認識を伺いたい。

内閣府所管

高木美智代君（公明）

- ・家庭系生ごみリサイクルについて、法制化を求める声があるが、今後の対応について、環境省の見解を伺いたい。
- ・加工食品の原料原産地表示の法制化を求める声があるが、今後の対応について、福島国務大臣の見解を伺いたい。
- ・行政刷新会議の事業仕分けにおいて対象となった、子ども農山漁村交流プロジェクト及び農山漁村におけるふるさと生活体験推進校の事業について、体験教育及び食育の観点から継続的に推進すべきと考える。文部科学省の見解を伺いたい。
- ・食育は、幼少からの取組が重要と考える。保育所及び幼稚園においては、どのような取組がなされているか。

【第2分科会】

(総務省所管)

・原口総務大臣、渡辺総務副大臣、内藤総務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

総務省所管

奥野 総一郎君(民主)

- ・地域主権改革に向けた原口総務大臣の決意をお聴かせいただきたい。
- ・一括交付金化により補助金を2割削減しても構わないとの自治体からの意見もあるとの菅財務大臣の答弁についての原口総務大臣の見解を伺いたい。
- ・郵政事業について経営の自由度を高め、民間とのイコールフィッティングを図ることが必要と考えるが、原口総務大臣の見解を伺いたい。

穀田 恵二君(共産)

- ・地上波デジタル放送開始に向けた取組内容を伺いたい、また、集合住宅の管理組合の総会集中時期等をかんがみると、2011年7月での完全移行は間に合わないと考えられアナログ停波を延期すべきとすることについて原口総務大臣の見解を伺いたい。

【第3分科会】

(法務省、外務省及び財務省所管)

・千葉法務大臣、加藤法務副大臣、武正外務副大臣、福山外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

法務省所管

中島政希君(民主)

- ・取調べの可視化を導入する法案を今国会に提出する意向の有無及び民主党案を参議院において2回可決しているが、それに付け加える点の有無について千葉法務大臣に伺いたい。
- ・検察庁法第15条及び19条の解釈上、民間人、国会議員、千葉法務大臣は検事総長になれるのか。
- ・検事総長以下の認証官を国会同意人事に含めて良いのではないかと考えるが千葉法務大臣の見解を伺いたい。

井戸まさえ君(民主)

- ・非配偶者間人工授精(AID)により息子をもうけた性同一性障害者の家族と面会した感想を千葉法務大臣に伺いたい。
- ・AID問題に今後どのように取り組んでいくのか、千葉法務大臣の決意を伺いたい。また、性同一性障害者が新戸籍を作っても、性別変更したことが記載されてしまうことを見直すべきと考えるか、千葉法務大臣の認識を伺いたい。
- ・離婚後300日規定や性同一性障害者が利用したAIDにより無戸籍児が発生しているが、法改正を含めて改善を検討することについての千葉法務大臣の見解を伺いたい。

大口善徳君(公明)

- ・公訴時効の見直しに関して、今後提出予定法案の内容及びスケジュールを千葉法務大臣に伺いたい。また、被告人の防御権や遡及適用の問題等、見直しに慎重な意見もあるが、それらに対する所感を伺いたい。
- ・取調べの可視化法案を提出するまでのスケジュール及び今国会提出の可能性について千葉法務大臣の見解を伺いたい。
- ・夫婦別氏制度導入に関し、鳩山内閣総理大臣が賛成である旨発言したことに対する認識を伺いたい。また、亀井国務大臣が導入反対の発言をしているが、閣議決定される見込みについての見解を伺いたい。

山内康一君(みんな)

- ・未成年の難民認定申請者を入国管理局収容施設に収容することは、児童の権利に関する条約に違反するおそれがあると考えますが、千葉法務大臣の所見を伺いたい。
- ・難民認定申請者の生活を支援するために、難民認定申請中でも就労できるような制度とする必要性について、千葉法務大臣の所見を伺いたい。
- ・難民支援事業を行うNPOに対する助成を拡充する必要性について、武正外務副大臣の所見を伺いたい。
- ・近年、難民認定制度の改善が進んできたと考えるが、同制度のさらなる改善に向けた千葉法務大臣の所見を伺いたい。

中島正純君(民主)

- ・我が国において取調べを可視化するに当たっての課題及びそれに対する対応策について、加藤法務副大臣の所見を伺いたい。
- ・検察において取調べ状況を録音・録画しようとしたにもかかわらず、録音・録画をすることができなかった実例を伺いたい。
- ・取調べの録音・録画に係るDVDが、被疑者の弁護士以外の者に開示されることがあるのか、また、どのような場合に公判廷で再生されるのかについて伺いたい。
- ・取調べの可視化とともに、弁護士と被疑者の接見を可視化することについても検討すべきと考えるが、千葉法務大臣の所見を伺いたい。

外務省所管

櫛淵万里君(民主)

- ・今年21日の日豪共同ステートメントをはじめ、核兵器の役割を核抑止に限定するとの現政権の姿勢は、核兵器の役割は核兵器への対処のみにとどまらないとの旧政権の姿勢を変更したものか。
- ・今年改定日米安保50周年であり、次期防衛大綱の見直しも予定されているが、核兵器の廃絶に向けて何らかの姿勢を打ち出す用意はあるか。
- ・5月のNPT運用検討会議に派遣される我が国の代表団に、NGO関係者を連携強化の観点からアドバイザーとして参加させる、または、政策協議を開くことはできないか。

【第4分科会】

(文部科学省所管)

・川端文部科学大臣に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

文部科学省所管

池坊保子君(公明)

- ・私立大学等経常費補助金の交付について、入学定員超過率を厳格に適用して不交付の措置を行う事例等について、川端文部科学大臣の見解を伺いたい。
- ・不交付措置などについて答申する大学設置・学校法人審議会の在り方についての川端文部科学大臣の見解を伺いたい。
- ・文部科学省による脳脊髄液減少症に対する調査及び対応状況等を伺いたい。
- ・脳脊髄液減少症の治療方法としてのブラッドパッチ療法を独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度の対象とすることについて、川端文部科学大臣の見解を伺いたい。

【第5分科会】

(厚生労働省所管)

- ・長妻厚生労働大臣及び山井厚生労働大臣政務官に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

厚生労働省所管

宮本岳志君(共産)

- ・放課後児童クラブは、放課後の子どもの生活の場を保障するものとする考えについて、長妻厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に運営することによって、子どもの生活の場の保障という放課後児童クラブの機能が果たされないこともあると考えるが、いかがか。
- ・放課後児童クラブの職員の専門性・継続性を確保するため、同職員の雇用の安定を図ることについて、長妻厚生労働大臣の見解を伺いたい。

江田康幸君(公明)

- ・特定疾患治療研究事業の対象疾患を追加したことによって地方負担が過剰になることが見込まれるが、どのように対応するのか。
- ・高額療養費制度の問題点の解消や自己負担限度額の引下げに向けて、どのように取り組んでいくのか。
- ・H T L V - 1 感染総合対策を確立するために、感染予防意識に関する実態調査や国が補助する全国一律のH T L V - 1 抗体検査の実施が必要と考えるが、長妻厚生労働大臣の見解を伺いたい。

【第6分科会】

（農林水産省及び環境省所管）

- ・赤松農林水産大臣、小沢環境大臣、山田農林水産副大臣、増子経済産業副大臣、田島環境副大臣、佐々木農林水産大臣政務官及び大谷環境大臣政務官に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

農林水産省所管

山崎 誠君（民主）

- ・我が国の森林の現状及び課題について、農林水産大臣はどのように考えるか。
- ・「森林・林業再生プラン」（平成21年12月25日農林水産省）の目的及び施策の特徴はどのようなものか。
- ・ナラ枯れ被害の現状及び対策の実施状況について、どのように把握しているか。

石田 三示君（民主）

- ・農業後継者育成対策について、農林水産大臣はどのように考えるか。
- ・「子ども農山漁村交流プロジェクト」について、平成20年度及び21年度の実績、成果及び今後の取組方針について、農林水産大臣はどのように考えるか。
- ・有害鳥獣の捕獲及び駆除を担う地方自治体の職員（公務員ハンター）の育成について、田島環境副大臣はどのように考えるか。

環境省所管

柿澤 未途君（みんな）

- ・今国会に「地球温暖化対策基本法案」が提出予定であるが、法案の骨格及びその提出に向けた小沢環境大臣の決意を伺いたい。
- ・再生可能エネルギーの利用を2020年までに20%以上にするという目標値は同基本法案に明記予定であるのか。また、再生可能エネルギーの導入拡大に向けた小沢環境大臣の決意を伺いたい。
- ・「鳩山イニシアティブ」による地球温暖化対策に係る途上国支援の今後の実施方針についての小沢環境大臣の基本的考え方を伺いたい。

緒方 林太郎君（民主）

- ・我が国の温室効果ガス削減中期目標について、国際的公平性を確保するため、基準年を1990年ではなく2005年等に設定する必要があるのではないか。
- ・京都メカニズムの手続き簡素化を図るため一元的窓口を設置する必要があるのではないか。
- ・生物多様性保全の観点から、日本の財産である貴重な植物種の収集・保存体制を省庁の枠を超えて構築する必要があるのではないか。

【第7分科会】

(経済産業省所管)

・直嶋経済産業大臣、後藤文部科学大臣政務官及び近藤経済産業大臣政務官に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

経済産業省所管

斉藤 進君(民主)

- ・優れた燃費性能を持つ軽自動車に対しては、ハイブリッドカーと同様の減税を行うべきではないか。
- ・労働者派遣法の改正について、直嶋経済産業大臣はどのような考えを持っているのか。

三村和也君(民主)

- ・商店街の活性化対策については、来年度も中心市街地活性化事業が継続されるが、本事業における成功事例にはどのようなものがあるか。また、商店街の活性化対策の推進に向けた直嶋経済産業大臣の所見を伺いたい。

- ・国や地方自治体の官公需において中小企業が受注できる機会を増大することが重要と考えるが、経済産業省ではどのような対策を実施しているか。

空本誠喜君(民主)

- ・地球温暖化対策における原子力エネルギーの位置付けについて、政府はどのような認識を持っているのか。
- ・海外の原子力発電建設受注において、ロシアや韓国が日本に対し優位に立っている現状について、経済産業省はどのように分析しているのか。

【第8分科会】

(国土交通省所管)

- ・前原国土交通大臣、中井国務大臣(国家公安委員長)、中川文部科学副大臣、辻元国土交通副大臣、馬淵国土交通副大臣、西村外務大臣政務官及び長安国土交通大臣政務官に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

国土交通省所管

畑 浩 治君(民主)

- ・JR貨物が並行在来線に支払う貨物線路使用料は、どのような考え方に基づいて算定されているのか。また、貨物線路使用料制度(調整金制度)の財源規模は、現在どのようなになっているのか。
- ・交通基本法の制定に当たり、公共交通の課題をどのように考えているのか。また、地域公共交通に対する現状と今後について前原国土交通大臣の所見を伺いたい。

遠 藤 乙 彦君(公明)

- ・訪日外国人旅行者数の目標設定を高くするに当たって、具体的にどのような戦略をもっているのか。また、観光庁、JNTO、省庁間の連携をどのように進めていくのか前原国土交通大臣の所見を伺いたい。

- ・中国からの観光客を呼び込むためにも、中国人に対するビザの発給について規制緩和をする必要があると思うが、外務省は、中国人へのビザの発給取得要件についてどのように考えているか。

服 部 良 一君(社民)

- ・新石垣空港建設予定地内において、旧石器時代の貴重な人骨が発見された。本遺跡の価値評価、保全の必要性及び現在の空港建設計画をそれぞれ、前原国土交通大臣はどのように認識しているのか。
- ・地方には多くの赤字空港があるが、将来的には廃港するという選択肢があってもいいのではないか。